

亀山・関テクノヒルズ 水辺公園



↑水辺公園を北側から望む
水辺公園内の池は手前が修景池、奥が沈砂地 公園の向こう正面がシャープ（株）、左側が凸版（株）



↑修景池の北側から中島を望む
能舞台および八つ橋の基礎と大引き
中島には能舞台の借景としてクロマツ等を配置



↑沈砂地を北東側から望む
園路舗装はリサイクルコンクリート舗装沈砂地外周の柵は生木の丸太組



↑付替水路を東側（下流側）から望む
付替水路は多自然型護岸を採用

事業主体：住友商事株式会社

所在地：三重県亀山市白木町

開発面積：全体開発面積約 146ha のうち、水辺公園面積約 3 ha
付替水路延長約 390m・幅員約 25m

関連法令：都市計画法、森林、法砂防法、農地法

設計期間：2002年2月～2002年6月（当初設計）
2006年10月～2007年3月（再整備設計）

造成工事：2002年7月着工～2003年5月竣工（当初工事）
2007年3月着工～2007年5月竣工（再整備工事）

この水辺公園は開発申請において、公園緑地として必要な公園面積の一部として確保されたものであるが、亀山市関係課および住友商事樹（関係各位の要望と熱意により、市民にも親しめる環境共生型の水辺空間の創出を図ることとした。

親水性のある池を公園中央に配して、その中に能舞台を持つ八つ橋を計画した（上部工は来春市施行予定）。

その北側には能舞台の観覧場および多目的広場兼用の芝生スロープ広場を配置している水辺公園の計画コンセプトは右記のとおりである。

①自然とのふれあいを楽しむ水と緑の憩いの空間の創出

- ・豊かな緑と水面に囲まれた、静かな雰囲気の中で散策や各種イベントを楽しめる空間を創出し、工業団地に潤いと良好な景観を与える。（水辺公園には記念植樹コーナーを設け、市民参加の植栽イベントを行うことで、身近で愛着のある公園となりつつある。また来春には市主催で薪能のイベントを行う予定）

②環境共生に配慮した設計

- ・開発前の現況ため池に生息していた希少種「ホトケドジョウ」、「カワバタモロコ」等の生息環境を整え、放流できる池。
- ・植栽は伐採区域の樹木（ハンノキ、ヤマモモ等）を移植、または潜在自然植生の樹種を主体。
- ・散策路の園路舗装はリサイクル（煉瓦再生材混入）コンクリート舗装
- ・沈砂地の外周柵とか階段は生木丸太を使用、また植栽地には伐採材の木チップを散布。
- ・付替水路は多自然型護岸（袋詰め栗石工+自然石張工）を採用等。